

# 新たな価値を提案し 市場を切り開く

## 異素材織り込みで攻勢

独自の製織技術で付加価値の高い織物を生みだし、新たな市場を切り開く阪上織布。樹脂や金属など繊維とは異なる素材を織布に融合させる技術で、産業資材や生活資材をはじめ安全用途やエンターテインメント、アパレルなど幅広い分野で用途開発を進めている。国内市場のパイが縮小の一途をたどる繊維業界ではあるが、これまでになかった価値を提案することで潜在的な需要を喚起できれば、市場の伸びしろはまだまだある。新たな市場開拓に挑む同社の取り組みを追った。

### 緻密度20%向上

加工に特化し、取引先のさまざまな要望に応える。同社の創業は1951年。当初は糸を仕入れてきた。現在はOEM（相手生地を生産し、販売して先ブランド）生産で事業だったが、1965年頃かを展覧する「織物の技術から業態を方向転換。受託屋」として、顧客にとってなくてはならない存在となっている。

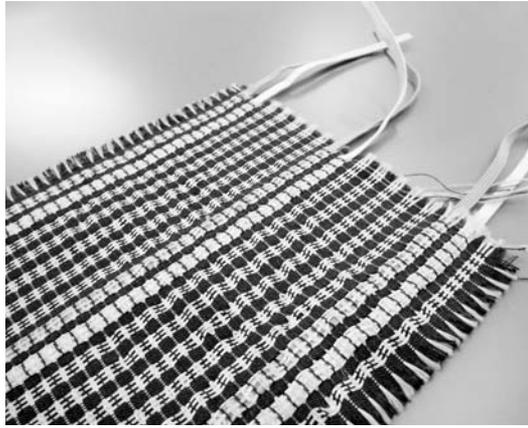
## 阪上織布

強みは理論に裏打ちされた技術力。得意とするのが「構造を持つ織物を作る技術」「超高密度織物技術」「異素材を織り込む技術」の3本柱である。構造を持つ織物を作る技術は、性質の異なる織物を組み合わせ、複数の機能を果たせる技術。超高密度織物技術では、糸と糸の間隔を極限まで小さくして織り上げることができ、独自の方法で擦れ合つ糸の摩擦耐性を高めて細かく織り込み、従来の織物の緻密度を20%向上させた。

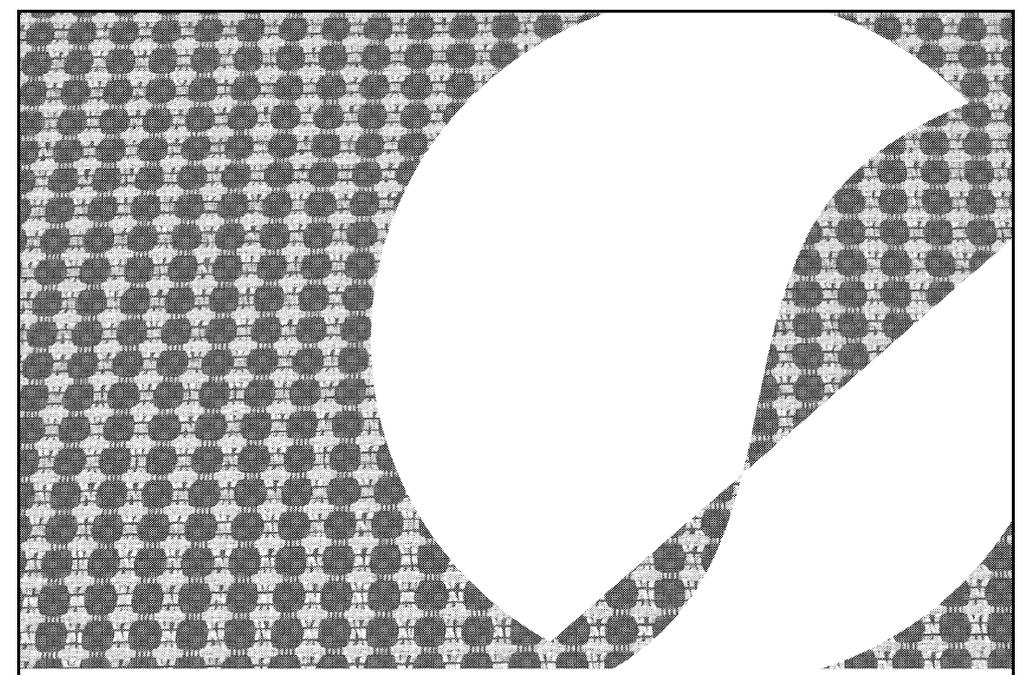
また、異素材を織り込む技術は超高密度織物技術を応用した技術。繊維に金属や樹脂、情報ケーブルなどを複合化させて織り込めるのが特長で、できあがった織布は異素材複合織物として住宅やオフィス、農業・土木建築分野、医療分野などに活用されている。繊維において新たな用途展開が期待できる。

独自の技術を強みに他社とんとんと停止しなければ、底的に研究した。この取用すれば、オフィスや工場の夢を広げていく。

## 独自技術の3本柱で用途拡大



ワイヤレス給電システム向けに開発した織物。絡み合うことなく目立つこともなく、すっきりとした空間を創造できる。また、装飾用の光ファイバーを繊維と合わせて織り込めば、災害発生時の避難経路の発光誘導など安全用途に関わる商品として、そのほか、アートやエンターテインメントにつながるアイテムとして活用が期待できる。阪上元彦専務取締役は「繊維は日常生活のあらゆる場面で使用されている。新たな切り口や面白い製品の提案など、発想の幅を広げていく。」



**60th**  
SAKAUE WEAVING CO.,LTD.

『非常識な織物』相反する性質を同時に、繊維以外の素材や異なる性質を持つ織物を組み合わせ一枚の多層シートにすることができず。

【特許第5852767号】他

世の中に無いものをカタチに、提案型織物メーカー



おかげさまで設立60周年  
**阪上織布株式会社**

〒590-0450 大阪府泉南郡熊取町大宮3丁目1525-1  
Tel.072-452-1161 Fax.072-452-1162  
E-mail:info@sakaue-w.net HP http://sakaue-w.net

●経済産業省認定● 2011年・2012年  
中小企業のものづくり基礎技術の高度化特定研究開発等計画の認定  
●経済産業省認定● 2013年  
「地域産業資源活用事業計画」認定  
●大阪府認定● 2012年  
大阪ものづくり優良企業賞2012受賞

